

OES ヒステロファイバースコープ OLYMPUS HYF TYPE XP

【形状・構造及び原理等】

構造・構成ユニット

*1.構成

・内視鏡

OLYMPUS HYF TYPE XP

<付属品>

・EOG口金

MB-156

・チャンネル掃除用ブラシ

BW-15SH

・チャンネル開口部掃除用ブラシ

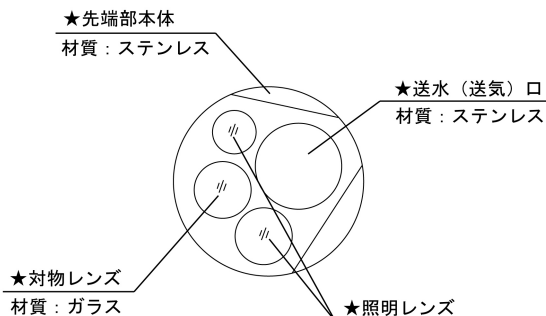
MH-507

・ディスポーザブルシングルエンド
クリーニングブラシ

BW-400B

※単品または任意の組み合わせで製造販売する場合があります。

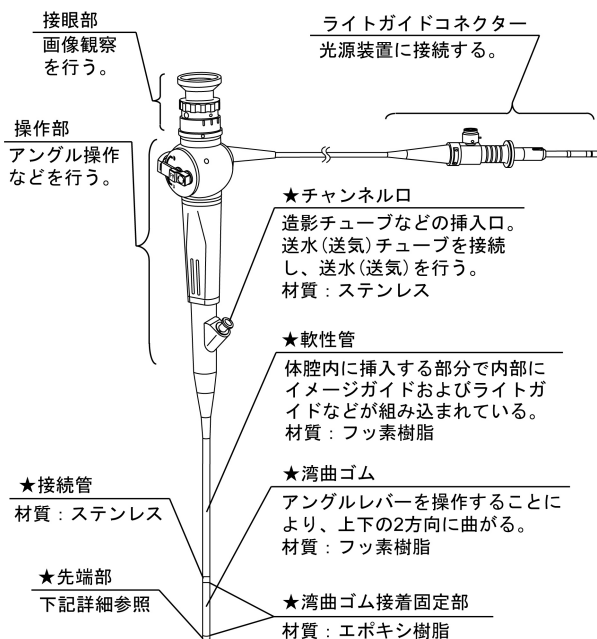
本製品の詳しい構成は、『取扱説明書』の「第1章 梱包品の確認」を参照すること。



先端部詳細

2.各部の名称

★は、使用中体腔内粘液に触れる部分である。



内視鏡全体図

※図で示せない間接的に生体に接触する内部的な部材は以下のとおりである。

★チャンネル

チャンネル口から送水（送気）口（先端部詳細図参照）に造影チューブなどを通すための管路。

材質：ポリテトラフルオロエチレン

3.仕様

(1)光学系

視野方向	: 0°（直視）
視野角	: 100°
観察深度	: 2~50mm

(2)挿入部

先端部外径	: Φ3mm
軟性管外径	: Φ3.1mm
挿入部最大径	: Φ3.5mm
有効長	: 240mm

(3)チャンネル

チャンネル径	: Φ1.2mm
チャンネル最小径	: Φ1.13mm

(4)湾曲部

湾曲角度	: UP 100°、DOWN 100°
------	---------------------

作動・動作原理

画像の伝達：

対物レンズより入射した被写体からの光をイメージガイドにより伝達し、接眼レンズを通して画像を観察する。

照明：

光源装置から出力される光が、本製品に内蔵されているライトガイドにより伝達され、先端部の照明レンズから光が照らされる。

【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、各種内視鏡用の光源装置、撮影装置と組み合わせて、子宮内の観察、撮影に用いる。

【使用方法等】

使用方法

1.消毒、滅菌

決められた方法で消毒（または滅菌）を行う。

2.光源装置の準備

光源装置に本製品のライトガイドコネクタを接続する。

3.ビデオプロセッサ装置、内視鏡ビデオカメラなどの準備

必要に応じてビデオプロセッサ装置、内視鏡用ビデオカメラ、ビデオアダプター、観察モニターなどを準備して、接眼枠にビデオアダプターを取り付け、画像を点検する。

4.造影チューブの挿入

必要に応じて内視鏡のチャンネル口に造影チューブを挿入する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 5.送水（送気）チューブの準備
生理食塩水などの送水（送気）源を接続した送水（送気）チューブに活栓を接続し、チャンネル口に接続する。
- 6.挿入、観察、診断
 - (1)経腔的に内視鏡に挿入し、子宮内へ進める。
 - (2)送水（送気）チューブの活栓を操作し、内視鏡の先端から送水（送気）を行う。
 - (3)内視鏡の挿入およびアングルレバーによる湾曲部の湾曲操作を適宜行い、内視鏡を目的部位へ誘導して観察する。
 - (4)必要に応じて、供覧用機器を接眼枠に取り付け、観察を行う。
- 7.撮影
接眼枠に内視鏡用カメラあるいは撮影装置を取り付けたビデオアダプターを取り付け、撮影を行う。
- 8.内視鏡の引き抜き
湾曲部をフリーにして内視鏡画像を見ながら、内視鏡を慎重に引き抜く。
- 9.消毒・滅菌
使用後は「1.消毒、滅菌」と同様に消毒、滅菌を行う。

使用方法に関する詳細については、本製品の『取扱説明書』を参照すること。

使用方法等に関連する使用上の注意

- 1.機器の故障や破損、部品の脱落を防止するために、内視鏡の先端部、挿入部、湾曲部、操作部、ライトガイドコネクタを強い力で曲げたり、ぶつけたり、引っ張ったり、ねじったり、落下させないこと。
- 2.オリーブオイルまたはワセリンなどの石油系の潤滑剤は、使用しないこと。湾曲部の被覆部材が膨らんだり、劣化するおそれがある。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1.一般的事項
 - (1)無理な力での挿入や引き抜きなどの操作を行わないこと。また、内視鏡画像により本製品の動きを観察せずに操作を行わないこと。出血、穿孔、機器の破損が生じるおそれがある。
 - (2)内視鏡は、出荷前に洗浄、消毒および滅菌されていないため、使用前に洗浄、消毒（または滅菌）を行うこと。洗浄、消毒（または滅菌）せずに使用すると感染するおそれがある。
 - (3)アングルを固定したままで、体内に内視鏡を挿入したり引き抜いたりしないこと。引き抜く際はできるだけ湾曲部をまっすぐにすること。体腔内を傷付けたり、出血、穿孔を起こすおそれがある。
 - (4)アングルを無理に掛けたり急激に操作したり、アングルを掛けたまま引っ張ったりねじったりしないこと。体腔内を傷付けたり、出血、穿孔を起こすおそれがある。また、検査中にアングルが戻らなくなるおそれがある。
 - (5)照明は必要最小限度の明るさで使用し、内視鏡先端部を長時間粘膜に接近させないこと。内視鏡先端部が熱くなり、熱傷を起こすおそれがある。内視鏡先端部の温度は 41℃を超えて、50℃に達することがある。
 - (6)検査の前後は、できるだけ内視鏡の照明光を点けたままにしないこと。照明光を点けたままにしておく、内視鏡先端部が熱くなりやけどをするおそれがある。
 - (7)本製品を使用しているときに内視鏡画像が暗くなってきた場合は、本製品の先端部の照明部分に血液、粘液などが付着した可能性がある。一度内視鏡を患者から引き抜き、これらを除去してから再び使用すること。除去せず使い続けると、内視鏡先端部の温度が上昇し、患者や術者がやけどをするおそれがある。
 - (8)子宮への過度の灌流を長時間続けると、灌流液が直接血管系（たとえば、開口した血管）に浸透したり、ガス灌流の場合は、ガス塞栓を起こすおそれがある。
 - (9)ライトガイドコネクタの先端は光源装置から取りはずした直後、非常に熱くなっているので触れないこと。やけどをするおそれがある。

不具合

その他の不具合

画像異常、アングル動作不良、抜去不良、故障、破損、部品の脱落、挿入部外表面のはがれ、湾曲部材の切れ・膨らみ・劣化、汚染、洗浄・消毒・滅菌不良、意図しない先端部温度の上昇、管路のつまり

有害事象

その他の有害事象

空気・ガス塞栓、患者・術者などの汚染・感染、組織の損傷、出血、穿孔、やけど、抜去困難

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

使用後は、『取扱説明書』の「第 7 章 洗浄、消毒、滅菌手順」および「第 8 章 内視鏡の保管」に従い、洗浄、消毒、滅菌および保管すること。

耐用期間

本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）6 年とする（自己認証（当社データ）による）。
なお、『添付文書』や『取扱説明書』に示す使用前点検および定期点検を実施し、点検結果により必要であれば修理またはオーバーホールを実施するなどの適正使用をした場合の年数である。

【保守・点検に係る事項】

洗浄、消毒、滅菌方法

- 1.内視鏡のすべての管路は使用の有無に関わらず、毎症例後必ず洗浄、消毒（または滅菌）を行うこと。なお、手順及び条件は、『取扱説明書』の記載に従うこと。
- 2.『取扱説明書』に記載の、洗浄、消毒、滅菌に使用できる薬剤を使用すること。それ以外の薬剤については、内視鏡お客様相談センター、当社指定のサービスセンターまたは当社支店、営業所まで問い合わせること。ステラッド® NX™は適用対象外である。
- 3.内視鏡および付属品は、消毒（または滅菌）の前に十分に洗浄し、消毒（または滅菌）効果を妨げる微生物や有機物を取り除くこと。なお、洗浄時に洗浄液が過度に泡立たせないようにすること。
- 4.消毒の全工程で内視鏡本体と付属品を完全に浸漬し、機器の外表面や管路内の気泡を完全に取り除くこと。
- 5.内視鏡の外表面、管路内および洗浄具類に消毒液が残らないように、滅菌水で十分に洗い流すこと。
- 6.塩化ベンザルコニウムを含有する消毒液を使用しないこと。
- 7.オゾン水への浸漬、オゾン発生雰囲気中での保管はしないこと。
- 8.内視鏡の管路内をすすぐ際には、消毒液をすすいだ後に、空気を注入し、十分に乾燥させること。
- 9.本添付文書および本製品の『取扱説明書』に記載している洗浄、消毒、滅菌方法では、クロイツフェルト・ヤコブ病の病因物質であるプリオンを消失または不活化することはできない。クロイツフェルト・ヤコブ病患者に本製品を使用する場合は、その患者専用の機器として使用するか、使用後適切な方法で廃棄すること。クロイツフェルト・ヤコブ病への対応は、種々のガイドラインに従うこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

使用者による保守点検事項

使用前点検および定期点検（6 か月または 100 症例に一度）において、以下の事項を確認すること。点検結果により修理またはオーバーホールを必要であれば実施すること。

1. 内視鏡画像が曇って見えるような現象がないこと。
2. 挿入部を両手で持ち、全長にわたって図 1 に示すように順次半円の頂点をずらすように曲げたときに、適切な軟らかさを有しており、軟らかさが不連続になっているなどの異常がないこと。

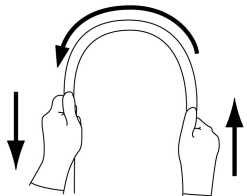


図 1

3. 挿入部の光沢消失や白線指標の変色、色あせがないこと。
4. 操作部のアングルレバー、アングル解除レバーの作動のざらつき、がたつき、引っ掛かり、操作部を軽く振ったときに異音があるなどの現象がないこと。
5. 先端レンズの脱落を防止するため、内視鏡の先端部の打跡、レンズ自体の欠け、レンズ周辺の欠け、レンズ周辺のすきま、レンズの異常な飛び出しがないこと。

**業者による保守点検事項

—

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社

〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先

TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

取扱説明書を必ずご参照ください。